



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー

コード番号 6255 URL <http://www.npcgroup.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 雅文

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 廣澤 一夫

TEL 03-6240-1206

四半期報告書提出予定日 平成28年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及び証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第2四半期	687	△89.1	△301	—	△350	—	△259	—
27年8月期第2四半期	6,302	△13.2	451	230.6	379	98.0	523	—

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 △275百万円 (—%) 27年8月期第2四半期 558百万円 (169.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第2四半期	△11.78	—
27年8月期第2四半期	23.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年8月期第2四半期	8,881	5,006	56.4
27年8月期	10,084	5,281	52.4

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 5,006百万円 27年8月期 5,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年8月期	—	0.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 配当予想の修正については、本日(平成28年4月6日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,225	△44.1	158	△69.4	92	△78.0	175	△68.7	7.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期2Q	22,052,426 株	27年8月期	22,052,426 株
28年8月期2Q	435 株	27年8月期	435 株
28年8月期2Q	22,051,991 株	27年8月期2Q	22,051,991 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う雇用環境や所得環境の改善が続く中で、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、海外景気の不透明さは、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループが属する太陽電池業界におきましては、日本・米国・中国等を中心に太陽電池の設置需要は世界的に増加しております。そのため、当社の顧客である太陽電池メーカーの工場稼働率は高い水準を維持しており、生産能力を向上させるための既設装置のアップグレードや、新規装置の設置に踏み切る動きが見られます。日本国内においては、高品質で低価格なパネルが求められる一方、設置後に不具合が発覚する事例が増加していることから、太陽光発電システムのメンテナンスに対する意識がより一層向上しております。

そのような状況下、装置関連事業では大型ライン案件の仕様向上のための追加受注を獲得し、受託加工事業では新規取引先と長期大型契約を締結しました。しかしながら、それら大型案件は下期に業績寄与されるため、従来から今期の業績は下期偏重となる見通しを立てております。当第2四半期連結累計期間はそれら大型案件の準備期間と位置付けており、太陽電池製造装置の一部案件に期ズレ等は発生しましたが、当第2四半期連結累計期間の業績はおおむね予定の範疇であります。

そのため、当第2四半期連結累計期間の売上高は687百万円（前年同四半期比10.9%）、営業損失は301百万円（前年同四半期は451百万円の営業利益）となりました。

なお、受託加工設備の減価償却費や支払利息等で営業外費用が発生しているものの、非連結子会社であるNPC-Meier社に対する引当金の戻入等が営業外収益で発生したことで、経常損失は350百万円（前年同四半期は379百万円の経常利益）となりました。また、旧本社の土地・建物の売却に伴い発生した96百万円の特別利益により損失額が縮小され、親会社株主に帰属する四半期純損失は259百万円（前年同四半期は523百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①装置関連事業

装置関連事業においては、下期及び来期に売上計上予定の大型ライン案件の製造に注力していたこと等により、売上高は671百万円（前年同四半期比47.5%）、営業損失は49百万円（前年同四半期は410百万円の営業利益）と低水準となりました。

②受託加工事業

受託加工事業においては、前期末に製造した製品在庫の売上計上のみとなったため、売上高は15百万円（前年同四半期比0.3%）、営業損失は35百万円（前年同四半期は225百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、8,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,202百万円減少しました。主な要因は以下のとおりであります。

(資産)

流動資産につきましては、3,454百万円となり、前連結会計年度末に比べ921百万円の減少となりました。これは主として、仕掛品の増加430百万円があった一方で、現金及び預金の減少736百万円、受取手形及び売掛金の減少608百万円があったことによるものであります。固定資産につきましては、5,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円の減少となりました。これは主として、建物及び構築物（純額）の減少104百万円、土地の減少145百万円、リース資産（純額）の減少29百万円があったことによるものであります。

(負債)

負債につきましては、3,874百万円となり、前連結会計年度末に比べ927百万円の減少となりました。流動負債につきましては、3,611百万円となり、前連結会計年度末に比べ894百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少88百万円、短期借入金の減少500百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少161百万円、関係会社整理損失引当金の減少43百万円、流動負債その他の減少127百万円があったことによるものであります。固定負債につきましては、263百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の減少となりました。これは主として、リース債務の減少30百万円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、5,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円の減少となりました。これは主として、利益剰余金の減少259百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ684百万円減少し、1,650百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は219百万円(前年同期は231百万円の収入)となりました。これは主として、減価償却費の計上137百万円、売上債権の減少617百万円があった一方で、税金等調整前四半期純損失の計上253百万円、貸倒引当金の減少29百万円、たな卸資産の増加422百万円、仕入債務の減少85百万円、その他の減少61百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により取得した資金は236百万円(前年同期は27百万円の収入)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出45百万円があった一方で、定期預金の払戻による収入68百万円、有形固定資産の売却による収入229百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は689百万円(前年同期は480百万円の支出)となりました。これは主として、短期借入金の返済による支出500百万円、長期借入金の返済による支出161百万円、リース債務の返済による支出28百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期(平成27年9月1日～平成28年8月31日)通期の業績予想につきましては、平成28年4月6日に公表しております「第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」の内容と同一であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,441,149	1,704,668
受取手形及び売掛金	801,337	192,542
商品及び製品	15,184	461
仕掛品	617,997	1,048,245
原材料及び貯蔵品	385,840	391,644
繰延税金資産	48,340	48,819
その他	100,439	85,599
貸倒引当金	△34,828	△17,597
流動資産合計	4,375,461	3,454,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,244,149	4,185,353
減価償却累計額	△1,094,481	△1,140,394
建物及び構築物(純額)	3,149,668	3,044,958
機械及び装置	658,112	658,112
減価償却累計額	△99,927	△106,257
減損損失累計額	△466,759	△466,759
機械及び装置(純額)	91,425	85,095
土地	2,043,719	1,898,173
リース資産	763,520	763,520
減価償却累計額	△468,341	△497,859
リース資産(純額)	295,178	265,660
建設仮勘定	-	5,053
その他	254,652	258,393
減価償却累計額	△198,918	△207,518
その他(純額)	55,734	50,875
有形固定資産合計	5,635,726	5,349,817
無形固定資産		
その他	21,580	26,580
無形固定資産合計	21,580	26,580
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,965	6,168
その他	46,671	45,722
貸倒引当金	△1,082	△1,082
投資その他の資産合計	51,555	50,808
固定資産合計	5,708,861	5,427,206
資産合計	10,084,323	8,881,590

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	792,288	703,970
短期借入金	3,000,000	2,500,000
1年内返済予定の長期借入金	161,285	-
リース債務	57,980	59,737
未払法人税等	20,979	10,099
前受金	126,062	147,638
賞与引当金	12,583	25,913
関係会社整理損失引当金	43,000	-
その他	291,588	164,355
流動負債合計	4,505,768	3,611,714
固定負債		
リース債務	269,855	239,540
その他	26,841	23,486
固定負債合計	296,697	263,027
負債合計	4,802,465	3,874,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,812,461	2,812,461
資本剰余金	2,734,875	2,734,875
利益剰余金	△350,565	△610,287
自己株式	△431	△431
株主資本合計	5,196,340	4,936,617
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	85,516	70,230
その他の包括利益累計額合計	85,516	70,230
純資産合計	5,281,857	5,006,848
負債純資産合計	10,084,323	8,881,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
売上高	6,302,542	687,363
売上原価	5,541,788	472,482
売上総利益	760,754	214,880
販売費及び一般管理費	309,451	516,798
営業利益又は営業損失(△)	451,303	△301,918
営業外収益		
受取利息	275	286
為替差益	-	8,556
関係会社整理損失引当金戻入額	-	43,000
その他	1,182	816
営業外収益合計	1,458	52,659
営業外費用		
支払利息	40,005	26,362
支払手数料	25,493	25,954
為替差損	4,374	-
減価償却費	-	48,888
その他	3,868	112
営業外費用合計	73,741	101,317
経常利益又は経常損失(△)	379,019	△350,576
特別利益		
固定資産売却益	-	96,673
受取補償金	160,141	-
特別利益合計	160,141	96,673
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	539,160	△253,902
法人税、住民税及び事業税	16,950	6,529
法人税等調整額	△1,298	△709
法人税等合計	15,652	5,819
四半期純利益又は四半期純損失(△)	523,508	△259,722
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	523,508	△259,722

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	523,508	△259,722
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	34,543	△15,285
その他の包括利益合計	34,543	△15,285
四半期包括利益	558,052	△275,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	558,052	△275,008
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	539,160	△253,902
減価償却費	199,125	137,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△212,054	△29,659
賞与引当金の増減額(△は減少)	-	13,329
受注損失引当金の増減額(△は減少)	12,565	-
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	-	△43,000
受取利息及び受取配当金	△275	△286
支払利息	40,005	26,362
固定資産売却損益(△は益)	-	△96,673
売上債権の増減額(△は増加)	1,244,877	617,174
たな卸資産の増減額(△は増加)	444,947	△422,548
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,004,967	△85,566
前受金の増減額(△は減少)	△127,337	22,913
その他	175,930	△61,994
小計	311,977	△176,297
利息及び配当金の受取額	278	291
利息の支払額	△41,293	△26,362
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△39,405	△16,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	231,557	△219,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△49,365	△16,397
定期預金の払戻による収入	117,469	68,623
有形固定資産の取得による支出	△12,713	△45,409
有形固定資産の売却による収入	876	229,850
無形固定資産の取得による支出	△12,550	△864
その他	△16,539	710
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,178	236,513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△500,000
長期借入金の返済による支出	△326,000	△161,285
リース債務の返済による支出	△154,181	△28,557
配当金の支払額	△12	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△480,193	△689,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,927	△11,765
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△194,529	△684,254
現金及び現金同等物の期首残高	2,228,291	2,334,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,033,761	1,650,669

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項ありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日) (千円)	前年同四半期比 (%)
装置関連事業	1,314,549	108.8
受託加工事業	—	—
合計	1,314,549	22.2

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
装置関連事業	3,104,302	166.3	5,668,723	404.2
受託加工事業	904,623	—	888,960	86.6
合計	4,008,925	—	6,557,683	270.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年2月29日) (千円)	前年同四半期比 (%)
装置関連事業	671,699	47.5
受託加工事業	15,663	0.3
合計	687,363	10.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。